

- 「アメリカ大統領選挙」(11月5日)の結果等を受けて
 - ・今回、トランプ氏が選挙で劇的な勝利をおさめ、いわゆるトリプルレッド(共和党が大統領職、上下両院の多数派を占める)で選挙を終えました。どこの民主国家でも国政の安定は政権与党の基盤がしっかりしていることが肝要で、言を俟たない処です。
 - ・一方、石破政権は政権与党として過半数割れし、政治不信と物価高の影響が大きく国民の目は厳しく、国民生活の改善を含めて思い切った政策を打ち出してほしいものです。
- 「未来ものづくり国際EXPO」(11月13日～15日) インテックス大阪にて
 - ・当倶楽部役員達が、今後の明るい認証候補企業等を発掘するために、多数の中小企業が出展する当該会場を訪れ、また11月22日には「OSAKAビジネスフェア2024」(マイドームおおさか)も見学し、見込み企業にも幾つか接触できました。
- 大谷効果(続き) 産経新聞(11月23日付、追手門学院大学・児玉光雄氏)を参考。
 - ・10月号で彼の振る舞いと明るさを、11月号で絶対的な存在感を述べました。今回は、結果に一喜一憂しない鋼のメンタリティに触れます。自分の中でネガティブなこともポジティブに変える思考を持つだけでなく、彼が重視するのは、結果よりも過程であり、明確に「結果目標」よりも「行動目標」に重きを置いている点が興味深く感じました。

< 年末年始休暇のご案内 >

- ・12月28日(土)～新年1月5日(日)を予定しており、よろしくお願ひ致します。

< 12月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 12月号
- ② 年会費納入のお願い(該当者には別途郵送の予定です。)



明るいシステム
倶楽部
ホームページ

< 12月の活動予定 >

12/2(月) 第66回 明るいセミナー	大阪産業創造館4階 イベントホール	14:00～16:30
12/7(土) 気楽な ZOOM サロン(48)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00～21:30
12/13(金) 「輝く未来の宝探し」(5)	明るい新聞からの注目企業の発掘	20:00～21:30
12/18(水) 役員会議(53)	「明るいセミナー」の今後について	14:00～15:00
12/18(水) 明るいシステム検討会議(36)	「明るいシステム」の整理・分析	15:20～16:20

AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

12/11(水)	菊池教室(47)	感性を育む和学講座	20:00～21:30
12/24(火)	柴原・松居教室(40)	「みんなで考える明るい職場」	20:00～21:30
12/28(土)	宮崎教室(51)	「言葉の力で問題を解決！」	20:00～21:30

◆西国三十三所札所巡り旅 (28)

西国 第 25 番札所 播州清水寺

御嶽山 清水寺 (兵庫県加東市)

本尊：十一面千手観世音菩薩

明るいシステム倶楽部会員：阿久根芳臣

行程：大阪市内から 70 k m (阪高池田線～中国道(吉川 JCT)～三田西 IC～県道 141 号)

今回の行程表記には大阪市内から直接に播州清水寺へ向かう距離を記しているが実際は最西端に位置する姫路市の 27 番 えんぎょうじ 圓教寺、加西市の 26 番 かざんいん 一乗寺、三田市の番外 花山院と併せて四カ寺を 1 泊二日で周ることにしている。宿泊は 4 カ寺の間にある加西市の「いこいの村はりま」とした。(前身は国民宿舎かも？ 料理はおいしかったのでお勧めです)

さて、ここは「御嶽山 清水寺」と号する天台宗のお寺だが、京都の清水寺と区別し ばんしゅう 播州清水寺と呼ぶとのこと。秋には全山紅葉で素晴らしく、山上から淡路島も遠望でき、天気の良いれば大阪・生駒も見渡せるらしい。

昭和五十年に自動車道が開通するまでは交通の便がやや悪く、やま道の旧参道を四十分ほどかかった為、参拝しにくかったらしいが、今では朱塗りのまばゆい仁王門前まで車で行って駐車場も無料で広い。仁王門に上がってからは根本中堂を経由して本坊までは“木漏れ陽”の下、山みちを往くのだがこう配もそんなにきつく無く、等高線に沿って歩く感じでそんなには疲れない。本坊の手前には立派な鐘楼 [開運の鐘] があり、無料で好きなだけ撞ける。(笑)

開山はインド渡来の伝説的人物の ほうどう 法道仙人。仙人が水の少ないこの地を訪れ、れいせん 霊泉をもたらしたことから「清水寺」と呼ばれたという。この霊泉だとされる「おかげの井戸」は根本中堂の背後にあり現在も水が湧いている。井戸の水面に顔が映ると寿命が三年延びるといふ伝承が残る。私と妻もあと三年は大丈夫と判ってうれしく思うきょうこの頃だ。

征夷大將軍・坂上田村麻呂が東征のさい、祈願して奉納した太刀 (重文) などもある。また、帰りの小径には“沙羅の木”がそこかしこに植えられており、初見の私は感激した。「祇園精舎の鐘の声 諸行無常のひびきあり」で始まる平家物語に出てくる沙羅のはな ナツツバキである (詳しくは HP をポチっ)

まばゆい仁王門 (朱塗り)



根本中堂 (大正時代の再建)



おかげの井戸



【外弁慶・・内弁慶・・まるで無口・・三者三様】

明るいシステム倶楽部 理事 宮崎 英二



夫の親戚は人の悪口を言うときにすごく盛り上がる共通点を持っているようです。結婚してしばらくした時、義母や叔母たちがいろんな人を引き合いに出して盛り上がっている中に、私や夫のことがあったと後から聞いたそうです。夫はそういうことから親戚付き合いをすることをせず、イヤなことを何でも私に押し付けます。

あるとき、ちょっとしたことで叔母のひとりからひどくいじめられました。私は泣きながら夫に助けてと訴えましたが、オレは知らん、自分で解決しろと突き放されました。

夫は結婚する前にみんなの前で「私はミノリさんを守って幸福にします」とカッコよく宣言したのに、そんなことをすっかり忘れて、逃げてばかりです。

夫は外では、人の世話をしたりしている「いい人」で、付き合いの上手い人として通っているのに、なぜ私を助けようとしないのでしょくか。妻を大事にして親戚付き合いもうまくすれば、もっと幸せになれると思うのですが、それができないのはなぜ？ また、うまくできるようになれるのでしょうか？

——「ご主人は、人間関係は外ではうまくできる人なのですね。」

ミノリ「はい、そのように思います。外でも結構社交的ですが、身内には口数が少ないんです」

A「それは私の夫も、外と内とはまるで違います」

B「私のところもそんな感じです」

C「私の夫は反対に内ではよくしゃべりますが、外では口下手で内弁慶です」

D「私の夫は内外とも無口なんです」

ミノリ「え、そうなんですか。その反対の人もおられたり、両方とも無口の人も……。うちの夫だけが変なのではないのですね」

A「そのような性格は生まれ持って得たものなののでしょうか。それは変えようのないものなのですか？」

——性格というと「生まれつき」とか「三つ子の魂百まで」と言われて、遺伝的に備わったものとよく言われますが、私たちは「思考と行動のパターンがライフスタイル化したもの」と考えています。しかし、人はあらゆる可能性を持って生まれてきたのですが、生きる過程で思考法と行動のパターンが生成され、他の人の影響や、自らの思考法を変えることによって、「性格」というものがぱっと変わっていきます。

例えば、「だれも止められないと思っていた怒りっぽい人が、まったく怒らなくなってやさしい人になった」というようなことが実際にあるのです。

B「性格というものは変えようがないものと思っていましたが、変えられるのであれば、私のイヤな部分も変えることができるのでしょうか」

——はい。意外と簡単に変えることができると思います。

D「ほんとですか。その答えを知りたいです」

——はい。ミノリさんの質問の答えを探しながら、その答えを見つけるようにしましょうか」

(次号につづく)